

## 2019年日独スポーツ少年団指導者交流実施要項

### <主旨>

昭和42年(1967年)以来実施しているドイツスポーツユースとの指導者交流は、各級組織の運営、団組織の活性化等に大きな成果を上げるとともに、日独スポーツ少年団同時交流の充実にも大きな役割を果たしている。これら過去の派遣交流の成果を踏まえ、平成23年(2011年)に調印した「日独スポーツ少年団国際交流協定書」にもとづき、両国指導者を下記のとおり派遣・受入する。

### 1. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団

### 2. 協力

公益財団法人奈良県体育協会 奈良県スポーツ少年団

公益財団法人和歌山県体育協会 和歌山県スポーツ少年団

### 3. 期日・期間

<派遣>2019年10月12日(土)～25日(月) 13泊14日 ※日本団結団式:10月11日(金)

<受入>2019年10月30日(水)～11月11日(月) 13泊14日

### 4. 派遣・受入人数

<派遣>10名(予定)

<受入>10名(予定)

※ドイツ団受入時には、日本スポーツ少年団が手配する通訳および日本スポーツ少年団担当者(計2名)が帯同予定。

### 5. 日本団

#### (1)派遣資格

日本スポーツ少年団有資格指導者(認定育成員・認定員)を有する者、もしくは、都道府県・市区町村スポーツ少年団事務担当者で原則として50歳程度までの者が望ましい。

#### (2)推薦方法

別に定める募集要項により、都道府県スポーツ少年団が推薦すること。

#### (3)派遣者の決定

第1次選考:書類審査

第2次選考:第1次選考合格者を対象とする事前研修会

<期間>2019年9月7日(土)～8日(日)

<会場> JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

※事前研修会終了後、決定通知を送付する。

## 6. ドイツ団受入担当区分等

- (1) 来日直後および帰国直前における東京プログラム(前半:10月30日～31日・1泊2日、後半:11月8日～11月11日・3泊4日)期間中は、日本スポーツ少年団が担当する。
- (2) 上記以外の地方プログラムについては、日本スポーツ少年団国際交流受入ローテーションに基づき、関係都道府県スポーツ少年団およびそのブロック内において担当する。
- (3) 2019年度については、近畿ブロックが受入担当となり、奈良県及び和歌山県にて地方プログラムを実施する。

## 7. 経費

### (1) 参加者負担金〔日本団〕 1人15万円

- ・ドイツまでの往復航空券代、空港使用料、燃油サーチャージ、ドイツ滞在費等は負担金に含まれる。
- ・事前研修会場往復の旅費、出発前日集合および帰国後離散に係わる旅費については、当協会旅費規程に基づき、本会が負担する。

### (2) ドイツ団受入経費

- ・ドイツ団、通訳1名、日本スポーツ少年団担当者1名の移動費、宿泊費、食費、施設入場料等の経費ならびに通訳謝金については、日本スポーツ少年団が負担する。
- ・本交流に係わる人的協力費など一部の経費については受入県負担とする。

## 8. 共通テーマ

交流における研修成果をより高めるため、両組織間で設定した共通テーマに基づき、両国の身近な問題をディスカッションなど様々な形態と方法により研究する。

共通テーマは以下の通りとする。

共通テーマ: Road to Tokyo 2020・オリンピック・パラリンピックムーブメント
--

※趣旨：2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを控え、開催国と参加国での意識の違い、お互いに何を求めるか、地域に戻った時にどう生かせるか、実践するかを考える。  
また、それぞれが過去に開催した際のレガシーが何かを学び、次の世代に残すべきレガシーとは何かがあるか、何ができるかについて研究・協議することを目的とする。

※本事業は「Sport for Tomorrow コンソーシアム」から「Sport for Tomorrow 認定事業」として承認を受けています。

Sport for Tomorrow とは、2014年から東京オリンピック・パラリンピック競技大会を開催する2020年までの7年間で開発途上国をはじめとする100カ国以上・1000万人を対象に、日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業です。世界のよりよい未来を目指し、スポーツの価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人々に広げていく取組みです。

## 9. 推薦期限

都道府県スポーツ少年団は、書類選考・面接試験等を経て日本団の派遣候補者を選び、7月31日（水）までに必要書類を添え、当協会まで提出すること。

## 10. 選考

日本スポーツ少年団にて、書類提出により第1次選考を行い、さらに第2次選考を兼ねた事前研修会を開催し、その後、日本団の派遣者を決定する。

### 11. 選考決定通知

第1次選考結果については8月初旬に、第2次選考結果については、9月中旬に、それぞれ都道府県スポーツ少年団および本人宛に通知する。

### 12. 事前研修会

第1次選考による派遣内定者は、下記により開催する事前研修会に必ず参加のこと。なお、研修会の詳細日程および内容等については、第1次選考と併せて通知する。

<期間>

令和元年9月7日（土）～8日（日） 1泊2日

<場所>

東京都/JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内（予定）

## 2019年日独スポーツ少年団指導者交流

### 基本日程(予定)

#### <日本団派遣>

##### ○事前研修会

期日:令和元年9月7日(土)~8日(日)

会場:JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内(東京)

##### ○結団式

期日:令和元年10月11日(金)

会場:成田空港近隣ホテル(予定)[千葉]

##### ○成田空港発

期日:令和元年10月12日(土)

##### ○成田空港着

期日:令和元年10月25日(月)

#### <ドイツ団受入>

##### ○ドイツ団来日

期日:令和元年10月30日(水)

##### ○東京プログラム(前半)

期日:令和元年10月30日(水)~31日(木)[日本スポーツ少年団担当]

##### ○地方プログラム

期日:令和元年10月31日(木)~11月8日(金)[奈良県および和歌山県スポーツ少年団担当]

##### ○東京プログラム(後半)

期日:令和元年11月8日(金)~11日(月)[日本スポーツ少年団担当]

##### ○ドイツ団離日

期日:令和元年11月11日(月)

## 2019年日独スポーツ少年団指導者交流 日本団派遣候補者募集要項

公益財団法人日本スポーツ協会は、別紙実施要項に基づき、都道府県スポーツ少年団との協力により、2019年日独スポーツ少年団指導者交流を実施する。本交流における日本団の派遣は、スポーツ少年団で指導にあたる指導者の更なる資質の向上を目的とする研修であり、日本団の代表としてふさわしい派遣者を下記により募集する。

### 記

1. 派遣期間  
令和元年10月12日(土)～25日(月) 13泊14日  
※日本団結団式：10月11日(金)
2. 派遣先  
ドイツ連邦共和国
3. 主催  
公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団
4. 募集人数  
7～8名
5. 研修テーマ  
Road to Tokyo 2020・オリンピック・パラリンピックムーブメント
6. 経費  
参加負担金 1人15万円  
※渡航費及びドイツ滞在中の基本滞在費(宿泊費、食事代、施設入場料等)は上記金額に含まれる。  
※事前研修会場往復の旅費、出発前日集合および帰国後離散に係わる旅費については、当協会旅費規程に基づき、当協会が負担する。  
※次のものは参加負担金に含まれず、個人負担となる。  
(1) 渡航手続き(パスポート取得等)に要する経費  
(2) 現地における共通経費および個人的諸費用
7. 応募資格  
(1) 令和元年度登録指導者で、日本スポーツ少年団認定育成員または認定員の資格を有し、今後もしもスポーツ少年団の指導・育成に従事できる者。  
(2) スポーツ少年団の指導・育成に2年以上従事している者。  
(3) グループワークの経験と能力が豊かで、協調性のある者。  
(4) 45歳程度までの者が望ましい。  
(5) 国際交流において、日本団の代表者としてふさわしい人格・見識を有する者。  
(6) 英語またはドイツ語会話ができることが望ましい。
8. 提出書類  
(1) 推薦書・申込書(それぞれ別添書式によるもの)  
(2) 申込課題「日独スポーツ少年団指導者交流で何を学ぶか、また、今後の活動にどう活かすか」  
(A4版 横書き 2,000字以上：パソコン等使用可)

発 第 号  
令和 年 月 日

公益財団法人日本スポーツ協会  
日本スポーツ少年団  
本部長 泉 正文

\_\_\_\_\_  
スポーツ少年団

\_\_\_\_\_  
本部長 印

2019年日独スポーツ少年団指導者交流  
日本団派遣候補者の推薦について

標記の件について、別添申込書類の通り派遣候補者を推薦いたします。

記

1. 人数 \_\_\_\_\_名

2. 推薦者

推薦 順位	氏 名	面接所見等
1		
2		

# 2019年日独スポーツ少年団指導者交流 申込書

フリカ・ナ 氏名		男・女	西暦 年 月 日生	所 属 都道府県		2019年4月1日時点での年齢 ( 歳)
身長	cm	体 重	kg	血液型	型	
フリカ・ナ 現住所	〒 ( )			TEL(自宅)		
				TEL(携帯)		
				Fax		
自宅最寄駅	駅名:( ) 路線名:( ) ※鉄道、バスどちらでも可			e-mail		
職 業 (勤務先)				Tel		
				Fax		
緊急 連絡先	氏名	(本人との続柄 )				
	住所	〒.( )				Tel
得意な スポーツ	1.            2.	少年団での 指導スポーツ		趣味・特技 (具体的に)		
英 会 話	1. 良くできる 2. できる 3. 少しできる 4. できない		独会話	1. 良くできる 2. できる 3. 少しできる 4. できない		
スポーツ 少年団 との 関 係	認定資格番号	N・K	指導歴	年	指導している団名	スポーツ少年団
	市区町村スポーツ少年団 における役割				都道府県スポーツ少年団 における役割	
	スポーツ少年団での経歴 (研修会、講習会参加、大会引率等)					
	西暦 年		西暦 年			
	西暦 年		西暦 年			
	西暦 年		西暦 年			
ドイツ 交流歴	(派遣・受入、民泊引き受け、同行等)					
	西暦 年		西暦 年			
	西暦 年		西暦 年			
その他海外渡航歴						
※ 市区町村 (道府県) 本部長の 推 薦	(推薦理由)					
	.....					
	.....					
	.....					
			スポーツ少年団 本部長	印		
別紙「公益財団法人日本スポーツ協会 倫理規定」抜粋の記載内容を理解し、遵守することを誓約の上、2019年日独スポーツ少年団指導者交流への参加を申し込みいたします。					パスポートサイズ写真貼付 (3.5cm×4.5cm)  裏面にボールペンで 都道府県名と氏名記入	
令和 年 月 日						
本人氏名 _____ 印						

- (注1) ※印以外は、申込者本人が記入のこと。
- (注2) ご記入いただいた個人情報、日独スポーツ少年団指導者交流における日本スポーツ少年団からの各種連絡・通知、資料の送付等を目的に使用いたします。また、交流パートナーであるドイツスポーツユース・各州スポーツユース、渡航業務取扱業者などの関係者に対しては、日独スポーツ少年団指導者交流に関する目的の範囲内で情報提供を行います。
- (注3) 本交流に係わる問合せ等のため、公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団より直接ご連絡差し上げる場合があります。
- (注4) 交流期間中に撮影した写真等については、プログラム、報告書、また「公益財団法人日本スポーツ協会」および「都道府県体育・スポーツ協会」のホームページ等に利用することがあります。







## 2019年日独スポーツ少年団指導者交流希望研修内容記入用紙

所属都道府県： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

現地で体験・学習したいプログラムを申込時に提出してください。

ドイツ側へ連絡するため、日本語と英語で記入してください。

希望研修内容(日本語)	希望研修内容(英語)
(1)	(1)
(2)	(2)
(3)	(3)
(4)	(4)
(5)	(5)

## 「公益財団法人日本スポーツ協会 倫理規程」 抜粋

### (遵守事項)

- 第4条 役職員等及び登録者等は、暴力、各種ハラスメント（セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等）、差別、試合の不正操作、違法賭博、ドーピング、薬物乱用（大麻、麻薬、覚醒剤等）等の違法行為や、スポーツの健全性及び高潔性を損ねるような社会規範に照らして不適切な行為を絶対に行ってはならない。
2. 役職員等及び登録者等は、個人の名誉を重んじ、プライバシーに配慮しなければならない。
  3. 役職員等及び登録者等は、日常の行動について公私の別を明らかにし、職務やその地位を利用して自己の利益を図ることや斡旋・強要をしてはならない。
  4. 役職員等及び登録者等は、補助金、助成金等の経理処理に関し、公益法人会計基準及び補助先、助成先等が指定する経理処理要項等に基づく適正な処理を行い、決して他の目的の流用や不正行為を行ってはならない。
  5. 役職員等及び登録者等は、自らの社会的な立場を認識して、常に自らを厳しく律し、本会の信頼を確保するよう責任ある行動を取らなければならない。
  6. 役職員等及び登録者等は、社会の秩序に脅威を与える反社会的勢力と一切の関係を持つてはならない。